

# 令和2年度 エコアクション21 環境経営活動レポート

事業期間:令和2年5月 ~ 令和3年4月  
発行年月日:令和3年7月 1日

株式会社 エムエスケー



# 目 次

- 1 環境経営方針
- 2 事業概要及び認証登録範囲と実施体制
- 3 環境経営目標
- 4 環境経営目標の実績
- 5 環境経営計画の取組内容と取組結果と評価、次年度の目標と計画
- 6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
- 7 代表者による評価と見直し

# 1 環境経営方針

## 《環境経営理念》

株式会社エムエスケーは、日本一の白樺美林を誇る平庭高原の麓で、地域に根ざした企業経営に取り組んでまいりました。品質、住環境配慮はもちろんの事、お客様を守る大切な財産の安全について、私達は、真心でご提案しお応えします。また、地球環境に配慮した企業活動を続けて参ります。

## 《環境保全への行動指針》

1 次のことに取組みます。

(1) 電力、各種燃料の使用に伴う、CO2排出量の削減に努めます。

(2) 建設系廃棄物、一般廃棄物の分別を徹底し排出量の削減、再資源化に努めます。

(3) 工事現場における環境への配慮、及び地域の環境保全活動を積極的に行うよう努めます。

2 環境に関連する法規類を遵守します。

制定年月日：平成28年 8月31日

改訂年月日：令和2年 5月 1日

株式会社 エムエスケー

代表取締役 室澤 勝彦

## 2 事業概要及び認証登録範囲と実施体制

### 1 事業者名及び代表者名

株式会社エムエスケー

代表取締役 室澤 勝彦

### 2 所在地

本社 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-88-1

倉庫 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-1-2

資材置場 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-87-1

### 3 環境管理責任者及び担当者名、連絡先

管理責任者 総務部 蒲田 奈緒子(担当者兼務)

TEL:0194-63-5031 /FAX:0194-63-5032(本社)

### 4 事業内容

- ・特定建設業 岩手県知事許可(特-30)第140049号  
土木・建築・大工・とび土工・舗装・  
内装仕上げ工事業  
岩手県知事許可(特-1)第140049号  
解体工事業
- ・一般建設業 岩手県知事許可(般-30)第140049号  
管・水道施設工事業
- ・浄化槽工事業 岩手県知事許可(届-18)第12-5号
- ・宅地建物取引業 岩手県知事許可(2)第2528号
- ・産業廃棄物収集運搬業 岩手県知事許可 第00308143487号
- ・市給排水工事業指定店

### 5 事業規模

創業年月:1996年6月

資本金:3,500万円

	2018年度 (基準年)	2019年度	2020年度	2021年度
完工高 (百万円)	162	179	205	
受注数 (件)	160	64	60	
社員数 (人)	16	15	13	
事務所面積 (㎡)	142.5	142.5	142.5	142.5

### 6 事業年度

令和2年5月 1日 ~ 令和3年4月30日

## 7 認証・登録範囲、実施体制

### ・全組織・全活動

①本社 ②倉庫 ③資材置場 ④建設現場

産業廃棄物収集運搬業は、自社排出分のみの為、産業廃棄物処理業者向けガイドライン適応外。

### ・実施体制

#### (1) 組織図



#### (2) 役割、責任、権限

役割・責任・権限	
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>課題とチャンスの明確化</li> <li>環境方針を制定し、全社員に周知する。</li> <li>実施体制の構築。</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> </ul>
定例会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。</li> <li>環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。</li> <li>計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は是正を検討する。</li> </ul>
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> <li>取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。</li> <li>教育訓練等の実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

# 3 環境経営目標

## 1 H30年度環境負荷の実績

表-1 主な環境負荷等の実績

項目	単位	H28年度	H29年度	H30年度 基準年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	96,386	124,750	19,480
電力使用量	KWh	1,540	7,947	16,742
ガソリン使用量	ℓ	11,599	11,606	11,478
軽油使用量	ℓ	22,381	31,645	32,421
灯油使用量	ℓ	3,913	878	717
一般廃棄物排出量	Kg	未計測	130	63
産業廃棄物排出量	t	1,012.9	307.4	244
リサイクル率	%	94.5	94.2	94.4
地域貢献	回	1	1	1

### 補足事項

- ① 電力の排出係数は、電力会社変更に伴い、基準年度はR2年度ENEOSでんきの調整後排出係数 0.494Kg-CO2を使用、他年度は、H29年度東北電力の0.521kg-CO2を使用。
- ② 給排水使用量は、山水を使用し使用も極わずかの為、目標の設定はしていません。使用に関して、節水、衛生管理等に努めております。
- ③ 化学物質は、保管・使用量や購入量も少量の為、目標等の設定はしていません。使用に関して、環境配慮の取組内容を決め、定期的に確認等を行います。

## 2 環境目標の設定

二酸化炭素排出量と産業廃棄物排出量の削減目標は、3カ年で基準年の3%削減を目標としました。その他の目標は努力目標として数値化。

表-2 環境目標

項目	単位	基準値	中期目標		
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	19,480	1%削減	2%削減	3%削減
電力使用量	KWh	16,742	1%削減	2%削減	3%削減
ガソリン使用量	ℓ	11,478	1%削減	2%削減	3%削減
軽油使用量	ℓ	32,421	1%削減	2%削減	3%削減
灯油使用量	ℓ	717	1%削減	2%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	Kg	63	1%削減	2%削減	3%削減
産業廃棄物排出量	t	244	1%削減	2%削減	3%削減
リサイクル率	%	94.4	95.4	96.3	97.3
地域貢献	回	1	2	2	3

## 4 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回、取組期間(令和2年5月から令和3年4月まで)の実績についての評価結果を報告いたします。

表-3 当該年度の環境目標の達成状況

※ 達成状況判断基準:達成 ⇒ ○ 未達成 ⇒ ×

項目	単位	基準値	取組結果		目標の達成状況
		H30年度	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	19,480	18,590	10,568	○
電力使用量	KWh	16,742	16,407	15,527	○
ガソリン使用量	ℓ	11,478	11,248	9,738	○
軽油使用量	ℓ	32,421	31,773	31,998	×
灯油使用量	ℓ	717	703	1,459	×
一般廃棄物排出量	t	63	59	51	○
産業廃棄物排出量	t	244	219.68	773.74	×
リサイクル率	%	94.4	96.3	95.4	×
地域貢献	回	1	2	0	×

# 5 環境経営計画の取組内容と取組結果と評価、 次年度の目標と計画

## (1) 環境経営計画の取組内容と評価、次年度の取組について 取組み内容を下記の通り設定し全社員で取り組みました。

表4 環境経営計画の取組内容

環境目標	取組内容
電力のCO <sub>2</sub> 排出量の削減	①エアコンの設定温度の適温化（冷房28℃） ②未使用照明の消灯 ③不必要な機器等の主電源OFF ④クールビズの実施
車両・重機等燃料のCO <sub>2</sub> 削減	①アイドリングストップ ②効率的なルートの実行 ③エコドライブの励行 ④車両等の空ふかしをしない ⑤定期的な点検、整備を行う ⑥最大積載量に見合った輸送単位の設定
LPG・灯油のCO <sub>2</sub> の削減	①暖房機器の設定温度の適温化（暖房20℃） ②ウォームビズの推進 ③建設現場での適正使用
一般廃棄物の削減	①分別の徹底 ②書類の両面印刷化 ③帳票見直しによる印刷物の削減 ④使用済用紙・FAX用紙の裏面利用
建設系廃棄物の削減	①分別の徹底 ②素材別の分別保管 ③マニフェストによる適正管理 ④仮設材等の再利用

環境目標	取組内容
水（井戸水）の削減	①節水シールの貼付 ②量水器による使用量の把握
化学物質（塗料・接着剤）の使用量削減	①使用量の把握 ②SDSによるPRTR物質の把握 ③漏洩防止対策の徹底 ④建設現場等における保管は、原則行わない
グリーン商品の購入の推進	①有害性の少ない資材の購入 ②省エネ性能の高い機器等の購入 ③事務用品のグリーン購入比率向上
環境に配慮した生産活動	①手戻工事やクレームが無いよう、顧客と打合せをする ②環境配慮型商品の提案と販売
社員教育地域活動	①エコアクション21の取組について等の環境活動についての教育 ②緊急時の対応の仕方などの訓練を行う ③会社や建設現場等の周辺の清掃活動の実施

## ◆ 取組結果と評価、次年度の取組目標、計画の内容について

取組の実施に関しては、取組めたと思う。しかし、目標の未達成があり、引き続きの取組みが必要である。今年度は、車両等の使用による燃料の使用が減り、CO2排出量が減少したが、受注した工事の関係で、倉庫(加工場)での加工作業が増え、養生や暖房での灯油使用量の増加と解体工事があり、産業廃棄物の排出量が増えた。次年度、灯油の使用量と廃棄物の排出量を削減に努めたい。

次年度の取組目標は、引き続き、R2年度はH30年度を基準として、-3%の削減を目標とする。

電力と産業廃棄物は削減出来るよう努めたい。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、清掃活動が行えなかったため、次年度は、感染対策等を行い活動が出来るよう考えたい。取組内容は、継続とし次年度、目標達成出来るよう実施する。また、環境整備や社員教育、訓練等を積極的に実施出来る様計画をしたい。

## (2)その他の取組

令和2年5月に地域環境活動の予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

### (3)活動風景

教育、訓練を行った際の、様子です。参加した、社員は、真剣に行っておりました。



コンプライアンス研修会

(R3.1/22)

- ・下請適正取引GLについて
- ・EA21の関連法規について



油流出対応訓練①

(R3.4/28)

- ・再確認のため実施



油流出対策訓練②

(R3.4/28)

- ・油に見立て水を使用
- ・側溝に流出した想定で実施

## 6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無

弊社が関連法規について遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。また、関係当局及び地域からの指摘や苦情等はありませんでした。

今後も、違反等しないように全社員で環境保全に取り組みます。

## 7 代表者による評価と見直し

### 1、環境経営方針

当社の実情にあった方針である。行動指針は取組めた、次年度も、継続して行いたい。

### 2、環境経営目標と計画

ガイドライン移行時期に伴い、目標と計画を見直し取組を行った。次年度も、目標達成に向け取り組みたい。

### 3、実施体制

代表者の役割等に、「課題とチャンスの明確化」が追加になり、当社に見合った実施体制である。

#### 4、目標と計画の実績

電力と産業廃棄物の項目で、目標を達成出来なかった。電力は、倉庫での加工機使用に伴ったためと思われる。未使用時の節電の呼び掛けを行わなければならない。産業廃棄物は、解体工事の受注に伴う増加である、分別を徹底し再資源化に努めなければならない。今年度は、燃料等の項目で、目標達成でき評価したい。次年度は、目標達成項目を増やせるように努めたい。

#### 5、全体評価

今年度は、未達成項目となった電力・産業廃棄物排出量、次年度は、削減出来るよう努めなければならない。目標達成した項目については継続的に取り組む。また、次年度も引き続き、課題等の明確化に努めたい。

以上

次年度も、全社員一丸となり  
環境に優しい事業所を目指し、  
エコアクション21に  
取り組めます。

株式会社エムエスケー社員一同





*Make  
Sincerity  
Keep*